

【番外編】 叱られたことがないのでは？《相談員の考察》

ちゃんと叱られたことがない人が増えてきている気がします。

「わざと食べ物を粗末にしている動画をインターネットにUPする」などという若者のニュースを見ると、この人は、怒られたことはあるけれど、叱られたことがないのではないかしら？と思ってしまうます。

これはこれまで親子の相談を受け続けてきた経験から思うことなのですが、小さな子供の頃からただ大きな声で怒られるだけで、なぜ親が怒っているのかという理由もきちんと伝えられたことがない人は、きちんと行動すること（例えば世の中のルールやマナーを守るとか、他人に迷惑をかけない行動をとること）を真面目に捉えなくなることがあります。そしてこのようなルールやマナーを逸脱したことをしてしまいがちです。

ダメと言ってくれなかった大人に対して、八つ当たりしているのではないかしら？とさえ思えます。

ちゃんと叱るとは、「やってはいけないことはダメと言い、してほしい行動については具体的に伝える」ことです。言いにくいことであっても、親としてきちんと伝えたいという意識と、お腹が空いている時間や眠たい時間は避ける、子供の立場を考えて友達やきょうだいの前では叱らないなどと、子供の事情に配慮するという大人としての対応が伴って、叱るということになると思っています。

難しいです。親の側の大人度が問われるからです。

説明する言葉や、してほしい行動は、子供の年齢に応じて異なると思いますが、叱るということは子供の年齢に関係なく、大人の仕事です。

執筆：認定特定非営利活動法人育て上げネット 「結」相談員 森 裕子・墓田 薫

「ニート・ひきこもりの子をもつ親の会『結』」
(運営：認定特定非営利活動法人育て上げネット)

若者の「働く」と「働き続ける」を実現するために、若年無業者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」など、多方面からの支援を行っている「認定特定非営利活動法人育て上げネット」の活動の一つで、親をサポートするための会。1か月ごとの定期相談やすぐに実施できる「接し方・伝え方」ワークショップ、親同士の気軽な茶話会などを提供している。



墓田さん

森さん